

第 I 部

「精神保健福祉士教育養成課程における 実習の指標に関する調査研究」の結果

—「精神保健福祉士実習に関するアンケート」の集計及び解析—

1. アンケートの概要

1. 本調査の目的

- (1) 精神保健福祉士の実習について、実習受け入れ機関の状況および実習指導者の状況を確認することで、本協会として今後の精神保健福祉士実習のありかたについての検討を行う上での参考とする。
- (2) 現在の精神保健福祉士実習の実態について、本協会構成員および関係者・機関に報告することにより、実習に携わる個々人の、実習の質の均一化やミニマム・スタンダードを検討するための参考とする。

2. 調査の概要

今回は、下記の方法で調査を行った。アンケート対象人数の設定については特に根拠はなく、回答率についての数値についてもあえて見解は述べない。アンケートの対象から教職者を除いた理由としては、精神保健福祉士の実習機関での状況の確認と、実習指導者の精神保健福祉士実習にかかわる見解の調査を主目的としたためである。

- (1) 調査の方法
 - ・ 郵送による無記名回答
- (2) 調査の時期
 - ・ 2004年3月10日 ～ 2004年4月末
- (3) 対象
 - ・ 2004年2月末日時点での日本精神保健福祉士協会会員
 - ・ 上記会員の内、教職者を除く者より無作為に抽出
- (4) アンケート発送数
 - ・ 555通（日本精神保健福祉士協会会員の1/7）
- (5) 返送数
 - ・ 196通（回答率35.3%）
- (6) 無効数
 - ・ 1通（有効回答率35.1%）

3. 分析方法

基本統計に基づく質的分析